

飼料用米に取り組み 収入の安定化を

飼料用米に取り組むメリットについて

- 単収を高めることにより収入（交付金）を増やすことができます（基準単収+150kg/10aまで増加）。
- 春先から交付金の収入を見通すことができます。
- 地力のムラや食味を心配することなく、管理が可能です。
- 稲作の農業機械を有効に活用できます。
- 需要量は十分あります。

全国の需要量：91万トン
供給量：43万トン



出典：農林水産省公表「飼料用米の推進について（令和元年12月）」

飼料用米の現状

- 本県においては飼料用米の単収が低く、交付金制度のメリットを十分活かしていないのが現状です。

(単位：kg/10a)

平成30年産	主食用米単収	飼料用米単収	単収差
全国	533	536	3
福島県	545	519	▲26

出典：「平成30年産米の作付状況等について」
(農林水産省：平成30年9月28日公表)
「平成30年産新規需要米生産集出荷数量」
(農林水産省：令和元年6月末公表) より算出

飼料用米の単収を向上させて 収入の安定化を図りましょう!

本パンフレットでは、主に浜通りにおいて飼料用米に取り組み上での、現地実証や試験研究の成果を掲載させていただきます。栽培の参考にご活用ください。



どれだけコストが下がるのか？

多収低コスト技術でどのくらい多収になるのか？

浜通りでの 多収低コスト技術実証

「ふくひびき」で基肥一発施肥体系により 収量増コスト削減

ケース1

品 種 名▶ふくひびき 栽培様式▶移植栽培
病虫害防除▶箱施用剤による一回防除
肥 培 管 理▶基肥窒素 9kg/10a

(10aあたり)	実証区	県生産費(H30)
生産費	74,365円	99,462円
肥料費	5,834円	9,904円
収 量	639kg	482kg



一回施肥により、
肥料費が大幅に
削減!

生産費は**25,097円減**
収量は**157kg増**

※生産費：物財費、労働費

※県生産費の収量は、該当市町村の標準単収値



生産者
の声

標高400mの中山間地域でも安定して高収量を得られました。
制度がこれからも続き、経営の中で取り組んでいけることを望みます。

ケース2

品 種 名▶ふくひびき 栽培様式▶移植栽培
病虫害防除▶箱施用剤(殺虫剤)及び
紋枯病対策として水面施用剤各1回
肥 培 管 理▶基肥窒素 13kg/10a

(10aあたり)	実証区	県生産費(H30)
生産費	96,373円	99,462円
肥料費	6,560円	9,904円
収量※坪刈単収	696kg	522kg



一回施肥により、
肥料費が大幅に
削減!

生産費は**3,089円減**
収量は**174kg増**

※収量は、台風の影響により、坪刈単収による

※生産費：物財費、労働費

※県生産費の収量は、該当市町村の標準単収値



生産者
の声

基肥一発肥料で省力的に高収量が得られました。紋枯病対策の効果が実感できたので省力的な防除法の確立を期待します。

乾田直播栽培で高収量とコスト削減

(10aあたり)	実証区	県生産費(H30)
生産費	68,120円	99,462円
労働費	10,067円	31,148円
収量	650kg	518kg



労働時間の短縮によりコストを大幅に削減!

生産費は**31,342円減**
収量は**132kg増**

品種名: 夢あおば 栽培様式: V溝不耕起直播
肥培管理: 基肥窒素 12kg/10a、追肥窒素 2kg/10a
※生産費: 物財費、労働費 ※県生産費の収量は、該当市町村の標準単収値

生産者の声



直播栽培について2か年取り組み、満足のいく結果が得られました。生育初期の雑草対策を徹底しながら、飼料用米の多収に向け引き続き取り組んでいきたいです。



播種の様子

実証で得られた成果

- 基肥一発施肥体系では、窒素成分10kg/10a程度を目安に施肥する。
- 多肥栽培を行う上では、紋枯病対策を合わせて実施し、収量の低下がおきないように配慮する。

多収品種の導入で安定生産を!

- 飼料用米の県奨励品種「**ふくひびき**」を中心に多収を確保しましょう!
- その他、浜通りに適する品種として、「オオナリ」や「夢あおば」、「ゆめさかり」があります。複数品種を導入し、作期・リスクの分散を行いましょう。

福島県相馬市での試験結果

2018~2019年の2か年平均
栽培条件: 5月中旬移植
基肥窒素8kg/10a
追肥窒素2kg/10a



粳および玄米
(左から
1: オオナリ
2: 夢あおば
3: ゆめさかり
4: ふくひびき)

品種名	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	耐倒伏性	粗玄米 収量 (kg/10a)	注意点
ふくひびき	8.1	9.10	強	721	耐冷性がやや弱のため、冷害に注意。
オオナリ	8.14	10.2	極強	881	特定の除草剤成分 (ベンゾピシクロン、メソトリオン、テフリルトリオン) で薬害が起こるため、これらの成分を含む除草剤は使用しない。耐冷性が極弱のため、冷害に注意。
夢あおば	8.4	9.21	極強	695	千粒重が大きいいため、播種量は多めにする。耐冷性がやや弱のため、冷害に注意。
ゆめさかり	8.5	9.21	強	717	千粒重が大きいいため、播種量は多めにする。耐冷性がやや弱のため、冷害に注意。

飼料用米取組の留意点

① 種子の注文は計画的に！

- 種子購入においては、例年の需要に応じて生産されているため、早期に申込ください。



各品種の種子購入先

- 「ふくひびき」をご注文の際には、お近くのJAや集荷業者にご相談ください。
- その他多収品種の購入先は、農研機構HPのURL：
https://www.naro.afrc.go.jp/collab/breed/seeds_list/index.html
【右上端の検索ボックスへ「品種名」を記入して検索】をご確認ください。

② 肥料は適正な量でコストを意識！

- 多肥栽培は、多収を達成するうえで不可欠な手段ですが紋枯病や倒伏に注意しながら適正に施肥しましょう。

③ 土壌のカリ含量は適切に保ちましょう！

- 適切な土壌のカリ含量は25mg/100gです。
吸収抑制対策では土壌診断により、カリ含量を把握し、適切な量に調整することが重要です。詳細は最寄りの農林事務所農業振興普及部・農業普及所へお問い合わせください。

令和2年度水田活用の直接支払交付金（飼料用米）について

助成は最大いくらなの？

地域の標準単収値より 150kg/10a増収を達成した場合	(区分管理の場合) 105,000円/10a
飼料用米複数年契約助成*	12,000円/10a
飼料用米複数年契約大規模加算*	2,500円/10a
飼料用米多収品種加算	1,000円/10a

最大で合計**120,500円/10a**になります！

※一般品種でも取組可

地域ごとに定める産地交付金もございますので、最寄りの地域農業再生協議会へお問い合わせください。

各交付金には、それぞれ要件が設定されております。県設定分については計画段階であり、県内作付実績に応じて交付単価が変更となることがあります。

●お問い合わせ先●

農林水産部 水田畑作課
TEL:024-521-7369

農業総合センター
浜地域研究所 TEL:0244-35-2633
浜地域農業再生研究センター TEL:0244-26-9562